

大会長御挨拶

平尾 泰男

日本放射線影響学会第38回大会を千葉市において開催することとなりました。本学会は発足以来36年、放射線の生物・医学的影響、環境放射能の動態等を主要研究課題として活動してまいりました。本年は、放射線研究の端緒となったX線発見100年であり、原爆被爆50年でもあります。それらに因んで、記念公開特別講演や招待講演、各種のシンポジウム・ワークショップ、パネル討論会等が計画されております。

参加者各位の御協力によって本大会が稔り多く有意義な大会となりますことを切に希望いたします。



1953 大阪大学理学部物理学科卒業
1961 同大学助教授
1967 東京大学原子核研究所教授
1987 放射線医学総合研究所
 医用重粒子線研究部長
1993 同研究所所長